

普代村

| 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|---|---|----------------|------------|-------------|
| <p>1 主要地方道岩泉平井賀普代線の改良促進について 主要地方道岩泉平井賀普代線の普代橋から黒崎間は、地形・地質が悪く法面崩落が多発する非常に危険な箇所が連続しております。</p> <p>また、本路線は小中学生の通学路線としても、太田名部漁港や県営農地開発事業農業用施設などへの産業道路、黒崎園地や北山崎への広域観光連携道路としても重要な路線であります。</p> <p>つきましては、この路線の災害防除事業の継続実施と普代橋から普代水門間の歩道整備、東日本大震災以降少しの時化でも越波により通行規制がかかる太田名部トンネル付近の消波対策などについて、強く要望します。</p> | <p>1 災害防除事業の継続 平成29年度は普代浜トンネル付近の落石崩落危険箇所の落石対策工等を予定しており、引き続き緊急性等を勘案し、計画的に防災対策を進めていきます。(A)</p> <p>2 歩道整備「普代水門から普代橋間」 歩道整備については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。 御要望の区間は事業用地の取得が困難であることから、早期の整備は難しい状況です。今後は普代村と、用地取得の可能性を検討していきます。(C)</p> <p>3 消波対策「太田名部トンネル付近」 御要望の区間は、波浪時の道路状況を注視し、対策を検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。(C)</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>A, C</p> |
| <p>2 主要地方道岩泉平井賀普代線・三陸沿岸道路普代インターチェンジ付近の改良工事について 三陸沿岸道路（普代道路）は、津波浸水域を回避したルート設定となっており、災害時でも安全で安心な通行が可能となる、「いのちの道」としての機能・効果が大いに期待されています。</p> <p>普代道路に接続する、主要地方道岩泉平井賀普代線の普代インターチェンジから役場庁舎間は、大雨時には度々冠水しており、昨年の台風10号の際にも冠水し、車での避難行動に大きな支障となりました。</p> <p>つきましては、道路の嵩上げ・水路の改修等による道路改良工事を実施し、災害等が発生した際にも安全に安心して車での避難行動ができるよう、早急な対策について要望します。</p> | <p>御要望の区間は、平成28年度の台風10号の豪雨時に冠水が確認されており、対策の必要性を県も認識しているところです。 今年度は、冠水が発生する原因の把握を行い、対策を検討していきます。</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>C</p> |

普代村

| 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|--|--|----------------|------------|----------|
| <p>3 一般県道普代小屋瀬線の改良について 一般県道普代小屋瀬線は、自動車交通のみに依存する沿線住民が、普代駅や三陸沿岸道路普代インターはもとより、小中学校や歯科診療所、役場などへの通行に利用する重要な路線であります。</p> <p>また、本路線は、広域基幹農道（しもへいグリーンロード）とも連絡し、地域間交流の促進や広域観光の振興にも、そして、東日本大震災の経験から、住民の避難や緊急物資の輸送などの災害に強い地域づくりにも大きく寄与するものであります。</p> <p>平成27年度からの再事業化により、旧 鳥茂渡小学校付近400m区間の改良工事を完成いただき、さらには、本年5月には、国道45号から1.8km区間の1.5車線改良による整備計画の住民説明会も開催いただくなど、県当局のご尽力に深く感謝を申し上げます。</p> <p>つきましては、この区間の早期の工事着手と住民の悲願でもあります茂市地区（年内渡橋）までの全区間の事業実施について、強く要望します。</p> | <p>○一般県道普代小屋瀬線〔茂市（年内渡橋）～普代（国道45号）〕</p> <p>御要望の区間のうち、国道45号から1.8kmの区間については、昨年度から1.5車線の道路改良設計を行っているところであり、引き続き地域と調整を図りながら計画の検討を行っていきます。</p> <p>また、そのほかの区間である旧鳥茂渡小から年内渡橋までの区間については、土地利用の状況、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきませんが、早期の整備は難しい状況です。</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>C</p> |
| <p>4 二級河川普代川河口の整備について 普代川河口は、東日本大震災で既存導流堤が損壊するなどし、以後、わずかな高波でも普代浜園地内の海岸土地の浸食、土砂の流失など繰り返しており、三陸復興国立公園の利用者にご不便をおかけしているところであります。</p> <p>また、秋以降の河口閉塞も頻発し、鮭のふ化放流事業に供する河川親漁の遡上にも極めて大きな支障がでております。</p> <p>県におきましては、本年度事業により対策工事の詳細設計など実施されるとお聞きしますが、早急な対応が求められている事情などご理解を賜り、河口部分の復旧・整備事業の特段の促進を要望します。</p> | <p>普代川の河口付近には「三陸復興国立公園」や「普代浜復興ふれあい広場」が整備され、多くの観光客の来訪が期待されるところと認識しています。</p> <p>普代川河口閉塞対策については、現在、既存導流堤が損壊している状況ですが、河口付近の公園整備事業と一体となって津波伝承看板や海水浴場からの避難動線確保などと併せて導流堤の復旧を検討しているところです。</p> <p>検討結果を踏まえて普代村・漁協等と調整を図りながら、今年度より工事に着工する予定です。</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B</p> |

普代村

| 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|---|--|----------------|------------|-------------|
| <p>5 台風10号による災害からの復旧について 昨年8月30日に岩手県沿岸に上陸した台風10号は、東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風であり、本村でも総雨量117.5mm、1時間最大雨量で37mmを記録しており、普代川の最高水位は村が想定している越水水位の280cmを大きく超える345cmを記録しております。 普代川・茂市川の河床整備・護岸整備などの治水対策については、これまでも、その万全な対策の実施を要望してきておりましたが、県においては、「近年の洪水により家屋の浸水被害が発生した箇所を優先的に進めている。」とし、「普代川・茂市川については、緊急性、重要性、事業に対する地元の協力等を勘案しながら事業化の時期を検討する。」との回答となっております。 この度の台風10号による被害では、住家は床上浸水22戸、床下浸水49戸の71戸、非住家で61戸の132戸が被災しており、県においても優先的に治水対策を講ずる必要があるものと考えます。 つきましては、台風10号の災害から一日も早い復旧・復興のため、次の事項について早急に事業実施を図られますよう要望します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 普代川・茂市川において被災した箇所の速やかな復旧事業の実施及び災害により発生した堆積土砂・流木等の完全な撤去。 2 河道改修の事業化による、継続的な事業の実施。</p> | <p>1 普代川及び茂市川の台風10号災害箇所は、併せて7箇所ありますが、普代川の2箇所について、現在、災害復旧工事を発注して施工しているところです。 他の被災箇所については、一部で民地の用地取得が必要なため、取得に向けて作業を行っており、用地取得が完了次第、順次災害復旧工事を発注して早期復旧に努めていきます。 堆積土砂及び流木等については、台風10号発生以降、土砂堆積や流木堆積等が著しい箇所を優先的に河道の流下能力確保を行ったところです。 今後も、防災・減災の観点から対策に必要な予算を確保し、浸水被害実績や周辺の土地利用状況を勘案のうえ、計画的に土砂堆積や支障木除去の対応を進めていきます。 (A)</p> <p>2 県全体の治水対策の中で緊急性等を総合的に勘案し、普代村と調整を図りながら事業化の時期を検討していきます。 (C)</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>A, C</p> |

普代村

| 要望内容 | 取組状況(方針) | 振興局名 | 担当所属名 | 反映区分 |
|--|---|----------------|------------|----------|
| <p>6 普代水門・太田名部防潮堤の長寿命化対策について 東日本大震災大津波は、本村においても漁港・漁業関連施設などに甚大かつ壊滅的な被害を受けました。</p> <p>その中であって、過去の大津波で多くの住宅被害を受けた普代元村地区と太田名部地区は、管理橋の落橋、諸電源設備に大きな被害を受けながらも、その機能を発揮した普代水門及び太田名部防潮堤に守られ1棟の被害もなかったところでもあります</p> <p>その後、普代水門の速やかな災害復旧事業や太田名部防潮堤の遠隔操作に係る陸閘の改修など行っていただいておりますが、両施設とも建設から33年及び50年が経過しており、躯体の劣化が懸念されております。</p> <p>県におかれましては、長寿命化及び堤防機能回復に向けた調査業務を実施されるとお聞きするところではありますが、これら事業の促進について要望します。</p> | <p>普代水門については、平成28年度に県庁河川課で発注済の「岩手県海岸保全施設等長寿命化計画検討資料作成業務委託」において、普代水門も含めた県全体の施設の維持管理最適化に向けた検討を進めています。</p> <p>施設の健全度及び緊急性等を総合的に勘案し、事業化の時期を検討していきます。</p> <p>太田名部防潮堤については、当部において長寿命化にかかる調査・設計を行っているところです。</p> <p>今後、調査・設計結果を基に必要な対策工を実施していきます。</p> | <p>県北広域振興局</p> | <p>土木部</p> | <p>B</p> |